

島根県議会

豪雨水害 義援金渡す

松江・安来・出雲・雲南4市と飯南町

日本共産党島根県委員会は、豪雨水害により災害救助法が適用された松江、安来、出雲、雲南4市と裏山崩壊による家屋



の損壊や農地への土砂流入などの被害が発生した飯南町に中央委員会からの義援金を届けました。

■松江(3日) 尾村利成県議・副委員長、田中肇、舟木健治、橘ふみ各市議が上定昭仁市長を訪ね、「国や県への要望を聞かせてほしい」と述べました。(写真上)

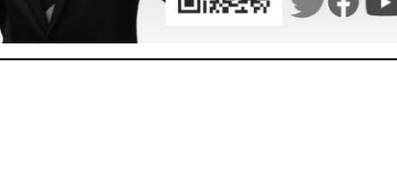
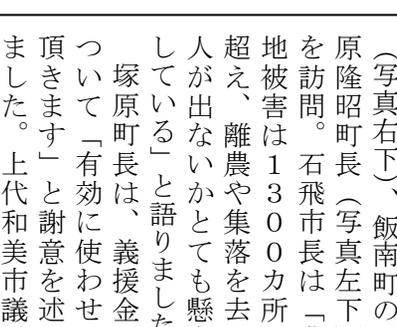
■安来市(5日) 尾村県議、原田貴与子、向田聡の両市議、河津清党市委員長が田中武夫市長を訪ね。(写真左) 田中市長は「台風シーズンに備え、2次被害が起きないよう早期復旧に尽力したい」と語り、義援金に

ついては「有効に使わせていただきます」と謝意を述べました。

■出雲市(5日) むこせ慎一衆院島根2区予定候補、大國陽介県議、後藤由美、吉井安見の両市議が飯塚俊之市長

を訪ね。(写真左上) 飯塚市長は「8月2日に災害復旧の補正予算を専決処分した。一日も早い復旧に向けて取り組んでいきたい」と語りました。

■雲南市・飯南町(6日) むこせ氏、大國県議が雲南市の石飛厚志市長(写真右下)、飯南町の塚原隆昭町長(写真左下)を訪ね。石飛市長は「農地被害は1300カ所を超え、離農や集落を去る人が出ないかとても懸念している」と語りました。塚原町長は、義援金について「有効に使わせて頂きます」と謝意を述べました。上代和美市議、



中国地方の多彩さを学んで

大平さんは議席奪還を目指すに当たり2つの目標を決めました。①中国地方のすみずみまで

水力発電で毎年6千万円の利益を出し、それを①18歳までの医療費②保育料③給食費の「3つのゼロ」を県内で初めて実現しています。

地球の持続化を図るため、山を生かす「100年の森林構想」に着手した岡山県西栗倉村の取り組みも印象に残りました。

「選択的夫婦別姓を求めた見書」の提出を求める陳情見書(新日本婦人の会安来支部提出)について、共産党議員団は「選択的夫婦別姓制度は、夫婦同姓を否定するものではなく、夫婦同姓

を選ぶ権利も保障している。国民世論、国際情勢、社会情勢が変化の中で、また急速な少子化が進行する中で、姓の問題で結婚をためらうことがないよう、若い世代の希望の実現とSDGsの提唱するジェンダー平等社会の実現のためにも、民法を改正して選択的夫婦別姓制度

を訪問。(写真左上) 飯塚市長は「8月2日に災害復旧の補正予算を専決処分した。一日も早い復旧に向けて取り組んでいきたい」と語りました。

前衆院議員(衆院中国ブロック比例)

大平よしのぶ物語

(不定期掲載)



2020年11月、最後となる島根県吉賀町を訪ねて目標達成。町長とも懇談し、地域の活性化に向けた取り組みを聞きました。同町は小



「選択的夫婦別姓を求めた見書」の提出を求める陳情見書(新日本婦人の会安来支部提出)について、共産党議員団は「選択的夫婦別姓制度は、夫婦同姓を否定するものではなく、夫婦同姓

を選ぶ権利も保障している。国民世論、国際情勢、社会情勢が変化の中で、また急速な少子化が進行する中で、姓の問題で結婚をためらうことがないよう、若い世代の希望の実現とSDGsの提唱するジェンダー平等社会の実現のためにも、民法を改正して選択的夫婦別姓制度

を訪問。(写真左上) 飯塚市長は「8月2日に災害復旧の補正予算を専決処分した。一日も早い復旧に向けて取り組んでいきたい」と語りました。

を訪問。(写真左上) 飯塚市長は「8月2日に災害復旧の補正予算を専決処分した。一日も早い復旧に向けて取り組んでいきたい」と語りました。

地域の話

選択的夫婦別姓求める 陳情不採択に

「選択的夫婦別姓を求めた見書」の提出を求める陳情見書(新日本婦人の会安来支部提出)について、共産党議員団は「選択的夫婦別姓制度は、夫婦同姓を否定するものではなく、夫婦同姓

を選ぶ権利も保障している。国民世論、国際情勢、社会情勢が変化の中で、また急速な少子化が進行する中で、姓の問題で結婚をためらうことがないよう、若い世代の希望の実現とSDGsの提唱するジェンダー平等社会の実現のためにも、民法を改正して選択的夫婦別姓制度

を訪問。(写真左上) 飯塚市長は「8月2日に災害復旧の補正予算を専決処分した。一日も早い復旧に向けて取り組んでいきたい」と語りました。

医療費は中卒まで無料に 吉井議員が要求

吉井議員「今年4月から出雲市でも小学生の通院、小中学生の入院にかかる医療費負担が1割へと軽減されました。他の自治体の状況と中学卒業までの医療費無料化について

佐藤子ども未来部長「今年4月時点の状況は、中学生まで通院・入院ともに無料にしている自治体が14市町村(うち4町村で

コメ需給改善求める 意見書可決

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で起きた過剰在庫を国が緊急に買い入れることや、過剰米をコロナ禍で増えた生活困窮者の食料支援に活用するなどの緊急対策を求めた「コロナ禍

における米の需給環境の改善を求める意見書」は、本会議で一部修正の後、賛成多数で可決し、関係機関等へ送られました。「民報

大平よしのぶ前衆院議員は、総選挙での比例議席奪還に向けて、SNSでの発信を強めています。スマホで左のQRコードを読み込んで、ぜひチェック・フォローしてください。

飯塚市長「子ども医療費の無料化は全国一律の制度とすべきと考える。たくさん意見を聞く中で、より良い子育て環境ができるよう取り組んでいく。」(日本共産党出雲市議会報告)より

は高校生年齢まで無料)。

飯塚市長「子ども医療費の無料化は全国一律の制度とすべきと考える。たくさん意見を聞く中で、より良い子育て環境ができるよう取り組んでいく。」(日本共産党出雲市議会報告)より

大平よしのぶをスマホでチェック!

QRで各種SNSへGO!

Twitter Facebook YouTube LINE